

「江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」 策定に至る経緯と今後の課題

日頃より、ご支援ご協力を賜り、誠に有難うございます。

この度、歴史上、初の本格的な「学術・調査、検討」提言事業」の策定に向けて、このテーマに関連する関係者、市民のみならずとご一緒に運動を進めるべく、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」を提示させて頂きました。

その策定に至る経緯と今後の課題につきまして以下のとおりご案内致します。

今後共、より一層のご指導とお力添えを賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

1. 基本計画の位置付けと目的

当会から提案させて頂く「江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）」は、2022年「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」の完成に向け、「学術・調査、検討」提言事業等を進める指針として策定したものです。

歴史上、初の本格的な「学術・調査、検討」提言活動を行うことにより、近世江戸や近代東京の歴史的伝統と文化的個性に「光」を当て、旧江戸城・城下町全体の再評価を行い、失われた江戸城を甦らせるべくその価値を明確にし、世界的な評価に資する今日的意義を検証して、都市東京の品格を創造しようとするものです。本事業は、事業と運動のよすが（手掛かり）となり、江戸城再生にとって必要不可欠な事業であると確信致します。

「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」の策定は、学識者などによる基本計画書策定委員会を設置します。策定から完成に至るまでの間、千代田区を始めとする各区、東京都、関係所官庁など関係機関の協力を得ると共に、適宜、提言活動を行います。一連の活動のプロセスは公開して参ります。

2020年、今日的意義の検証を経て、2022年、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」完成の暁には、提言先である関係所官庁や関係機関に対し、市民運動が支える「国家的プロジェクトなどの設置」に向けて、「江戸・東京ルネッサンス基本構想」を提言して参ります。

これらの二つの提言は、東京の歴史文化まちづくりの羅針盤となる重要な位置づけとして、機能するものと考えます。

「江戸・東京ルネッサンス基本構想」に反映される首都東京のイメージは・・・先人達により守られた旧江戸城の城門や石垣等の整備や活用が、さらに進むと共に、失われた見附や本丸御殿、天守などの歴史遺産の再生により、江戸城が甦がえる一大歴史文化圏の誕生により、国内外から訪れる多くの人々が、日本の歴史と伝統・文化に触れることにより、感動と共感の輪が醸成され、「住んで好し、訪れて佳しの歴史文化まちづくり」を想定しております。

当会は、この取り組みを通して、地域社会の発展や学術・文化及び芸術の振興、国際相互の理解の促進及び豊かな人間性の涵養などにより、ひいては、観光立国推進基本法が云う世界平和への寄与を期待し、民間の公益活動として、社会的使命を果たそうとするものです。

2. 江戸城再生と歴史まちづくりの本流として、新事業主体を設立

2016年11月、「江戸城天守再建を中核事業とする歴史文化まちづくりグランドデザイン（座長：東京大学・伊藤滋名誉教授）」が、新事業主体である一般財団法人の設立に向けた基本構想として提言されました。

この提言は、市民運動を持続的に展開してきた12年に亘る運動の集大成とする江戸城再生と歴史まちづくりの本流として、その篤い想いと志をもつ代表理事小竹直隆を始めとする役員、支援者、市民などに継承され、2017年1月24日、清々粛々として新事業主体である一般財団法人江戸城天守再建ルネッサンス（略称）の設立に至りました。

同年2月以降、関係所官庁である文化庁、千代田区、東京都などに相談を進め、同時に学識者、有識者、産業界、会員や市民など、キーパーソンとの意見交換を重ねて慎重に検討した結果、次の認識に至りました。*1、2、3、4、5、6

3. 天守単体と江戸城址の課題

皇居東御苑に存在する江戸城天守の「台座」は、歴史的な経緯のある国宝であり、国内法はもとより国際憲章による厳しい制約を課せられており、根強い慎重論に暇がなく、天守単体での復元は極めて難題であると云われています。

江戸城址は、日本の特別史跡であると同時に、世界遺産に匹敵する比類なき世界の宝でもあることを踏まえて、世界的な評価に資する今日的意義の検証を必須課題とし江戸城再生全体構想として取組む必要を認識するに至りました。

皇居東御苑、北の丸公園、皇居外苑は市民に開放され、日々、訪れる人々で賑わっています。外濠の完成による江戸城総構えは、三代家光により完成されたと云われています。現在は、城門や濠の再生など歴史文化資源による産学官民・市民活動が地道に長年に亘り、展開されています。

しかしながら、江戸城全体の観点からの文化財の保存や環境整備も十分とは云えず、しかも、失われた天守や政治の中核的存在である本丸御殿を始めとする必要で重要な歴史・文化遺産は潜在化し、凍結されたまま現在に至っています。*6

4. 激変する内外の環境変化は、都市東京の歴史文化まちづくりの環境整備へ

一方、2017年3月に、政府が発表した「観光立国推進基本計画（閣議決定）」では、観光は我が国の成長戦略の柱であり、地方創生への切り札であるとする認識の下に、国際競争力を高め、拡大する世界の観光需要を誘致することにより、世界が憧れ、訪れたい「観光先進国・日本」への飛躍を図ろうとし、政府が一丸となり取組むことにしたものです。

同年、3月を契機に、国連は、短期的な経済的利益を得るための生態系や文化にマイナスの影響を及ぼす環境利用を抑制し、地域固有の生態系や文化の保全を通じて、長期的な経済的利益に繋げていくよう提唱する「持続可能な観光国際年」を定め、国内では、2018年7月（予定）の文化財保護法の改正の動きや、歴史文化基本構想指針、歴史まち法などの法的見直しも行われ、漸く、文化財の冷凍保存から地域固有の文化の保全や活用の時代に向け、法的に示す第一歩となるべき環境が整備されてきたと云えます。

私達を取り巻く環境は、今、内外においても、激動の時代を迎えています。

このように、江戸城再生や歴史まちづくりに関連する課題に加えて、内外の激変する環境下において、当会は、現在から将来、そして、近未来に向けた検討を慎重に重ねて参りました。

世界に比類なく価値ある江戸城を甦らせるためには、冷凍保存から脱却し、江戸城、城下町総体の観点から世界的な評価に資する今日的意義の検証が必要不可欠であるとして、「江戸城全体整備計画」の策定を必須課題として、次の展開構想である下記ビジョンの提案に至った次第です。

2017年10月、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画(案)」の策定から、2018年3月迄の半年の間に、ホームページへの掲載や説明会等による一般公開を行い、産学官民の多くの人々から賛同の輪が拡がりつつある状況を踏まえ、2018年7月「江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画(案)」の提案に至りました。*7, 8, 9

5. 私達から次世代へ、夢と希望を継承しよう！

今、一人ひとり、想いと一歩で、繋がろう！

2018年度にスタートする「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」の策定事業は、歴史上、初の試みであり、多くの人々にとっての夢と希望のある運動と云えましょう。

また、「江戸・東京ルネッサンス基本構想」として関係所官庁に提言されていく際も、その後も、近未来にいたる迄、本事業と市民運動の羅針盤となると考えます。

1000年以上の超長寿命をもつと云われる江戸城は、私達から次世代に間断なく継承することができれば、近未来の世界遺産を目指すことが可能となり、さらに、未来に向かい1000年を超えて継承されていく事業となりましょう。

首都東京の歴史文化まちづくりの運動に、是非、ご参加頂き、ご一緒に進めて参りましょう。一人でも多くのおみなさまのご参加を、心より、お待ち申し上げております。

2018年(平成30年)7月30日

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会
代表理事 小竹直隆

* 参考文献等

- ※1 「江戸城天守復元調査研究報告書」三浦正幸教授他広島大学大学院文学研究科三浦研究室(平成28年5月)
- ※2 「江戸城天守再建事業と歴史文化まちづくりランドデザイン」検討会最終報告主な資料(最終回:平成28年11月21日):
 - ①「新事業主体(一般財団法人)江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会設立に向けた『基本構想』
検討会からの提言」検討会座長 東京大学名誉教授 伊藤滋
 - ②「検討会ご参加御礼とご報告」検討会主催者 特定非営利法人 江戸城天守を再建する会 理事長 小竹直隆
- ※3 「江戸城寛永度天守再建調査検討委員会報告書」都市計画学会(平成25年12月)
- ※4 「江戸城天守再建に係る経済効果等調査報告書」株式会社日本経済研究所(平成25年10月)
- ※5 「東京文化資源会議パンフレット」(平成28年1月)
- ※6 「主な行政許認可と江戸城天守再建のための理念的課題」(2018年4月13日)
- ※7 「文化的景観としての皇居外苑の再生に関する提言」
日本イコモス国内委員会委員長 西村幸夫、第18小委員会(文化的景観)主査 石川幹子(平成30年2月20日)
- ※8 『NHK出版DVD+BOOK よみがえる江戸城』平井聖監修・執筆、小粥祐子執筆(平成26年9月)NHK出版
- ※9 『観光文化』235号(平成29年10月)公益財団法人日本交通公社
- ※10 「江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画(案)」(平成29年10月11日) *当会HPに掲載